

令和6年度 第2回

ケアマネとリハ職の 情報共有の練習会

定員 75名

参加費無料

今回の事例：

進行性疾患で

短期・長期目標設定に悩む事例

日時：

令和6年

11月11日（月）

19時00分-20時30分

場所：

姫路市医師会館

5階 大ホール

対象者：

ケアマネジャー等、

リハ職（OT・PT・ST）

企画・協力：

- ・兵庫県介護支援専門員協会姫路支部
- ・兵庫県言語聴覚士会中播磨ブロック
- ・兵庫県作業療法士会中播磨ブロック
- ・兵庫県理学療法士会中播磨支部

<問い合わせ・申込先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

TEL：079-295-3330 FAX：079-295-3351

E-mail：med-care@himeji-med.or.jp

【ケアマネの皆さん】

リハ計画書の

活用術を学ぼう！

【リハ職の皆さん】

伝え上手な

リハ職になろう！

内容

ケアマネジャーとリハ職がグループワークで、一緒にリハビリテーション計画書の情報を整理し、どのようにケアプラン作成に活用できるかを検討する

練習会で学べる

ポイント

リハビリテーション計画書の

【ケアマネ】

- ①読み取り方
- ②目標設定や支援上のリスク管理への活用方法

【リハ職】

- ①実際の伝わり方
- ②ケアマネジャーや介護職に必要な情報の伝え方

★事前申し込みが必要です。
裏面をご確認ください。

ケアマネとリハ職の情報共有の練習会 「進行性疾患で短期・長期目標設定に悩む事例」

2024年11月11日（月）19時00分～20時30分

【申し込み方法 および申し込み先】

申し込み方法①「参加申し込みフォーム」からのお申し込み

※可能な限り「参加申し込みフォーム」からのお申し込みにご協力ください

URL : <https://forms.gle/K1SrWMPB3pwmDtKC7>

(当センターホームページ「研修スケジュール」からも申し込みできます)

参加申し込みフォームに必要事項を入力しお申し込みください

参加申し込み
フォームは
こちら



申し込み方法② メールまたはFAXにてお申し込み

E-mail : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

下記必要事項をお知らせください

《必要事項》

①研修会名 ②氏名 ③所属機関名 ④職種 ⑤E-mailアドレス

⑥電話番号 ⑦FAX番号

⑧必要な配慮がございましたらご記入ください

※直接連絡の上、相談させていただきます。状況により、対応できない場合はご了承ください

<例> 車いすスペース、障害者等専用駐車スペース、介助者の同行、手話通訳、要約筆記、点字資料、拡大文字資料、その他（具体的に）

★申し込み締切：2024年11月5日（火）

※定員に達した時点で受付を終了しますので、お早めにお申し込みください

- ・メール（Google formの自動返信など）で受付完了のお知らせをお送りいたします。お申し込みから4～5日経ってもお知らせが届かない場合は、受付できていない場合がありますので、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・当方からの連絡事項等がある場合、お申し込み時に必要事項にてお知らせいただいたメールアドレスにお送りいたしますので、適宜メールのご確認をお願いします。

<お問い合わせ先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

対応時間：月曜日～金曜日（祝日・8/15・年末年始を除く）午前8時35分から午後5時20分

TEL : 079-295-3330

E-MAIL : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

ホームページURL : <https://www.himeji-renkei.com/>

※研修会当日は、お問い合わせやメールへの対応ができないことがあります

ホームページは
こちらからでも
ご覧いただけます



第8回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和6年7月19日(金) 19時-20時30分 姫路市総合福祉会館

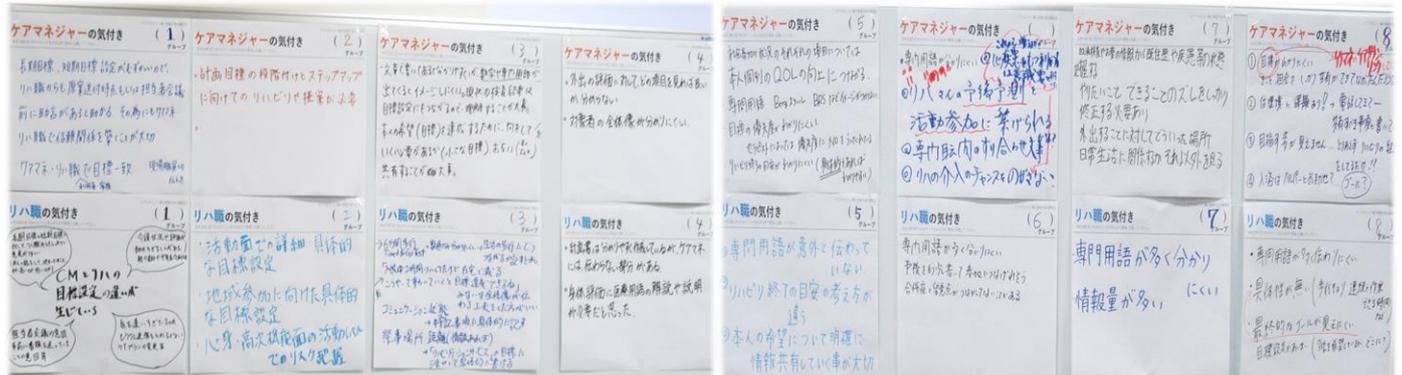


リハ職が書いた情報提供書(リハビリテーション計画書)をケアマネジャーとリハ職職と一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性(将来予測)や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第8回は、ケアマネジャー14名、リハ職22名、その他の職種2名(計38名)が参加されました。

今回は、理学療法士会より「目標設定に悩む脳血管障害の一症例」の事例提供をいただき、8グループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、目標設定に向けてケアマネとリハ職が何に注目し、どのように共有すればよいのか、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ⇨ 今回より気づき用紙を活用し、ケアマネ・リハ職がそれぞれにまとめ共有しました ⇨



参加者アンケート回答(一部抜粋)

- ・職種の違いから見ている視点が異なることがわかったため、お互い見ている状況を密にコミュニケーションをとり、目標設定していきたい(ケアマネ)
- ・より具体化した目標設定ができるように、アセスメントで知り得た情報を共有していきたい(ケアマネ)
- ・グループワークでは、皆が意見・発表しやすい雰囲気だった(ケアマネ)
- ・リハ計画書の内容で専門用語が多く、ケアマネさんにとって不明なことが多いため、特記事項をもう少し活用し内容を細かく伝えていけると良いと思った(リハ職)
- ・ケアマネさんが思う対象者がリハビリ終了だと考える場面は「自信がついたとき」、一方、リハ職が終了だと考える場面は「身体機能が向上している」時で、違いがあると感じた(リハ職)
- ・普段、他の事業所の方と顔を合わせる機会がないため、楽しい有意義な時間となった(リハ職)

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11月11日(月) 姫路市医師会館にて開催予定です！ 今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます